

雑居ビル火災の悲劇を繰り返さないために

昨年12月17日、大阪
市北区の雑居ビル内で
放火殺人事件が発生。
総務省消防庁の調査で
は、地上3階以上で非
常階段が1カ所しか
ない商業ビルは、全国に
約3万棟。

この事件の3日後、
守口門真市消防組合
は、火災発生時に建物
内に煙や熱が充満し多
数の人が逃げ遅れたこ
とから、管内にある類
似の雑居ビル約100
件を対象に緊急の特別
査察と避難経路や消防
用設備等の維持管理状
況を点検した。階段に
避難障害になるような
ものを置かない。従業
員には放火対策
や防火管理面に
ついての行政指
導を行った。ま
た、管内のガソ
リンスタンドに
ガソリン小分け
販売時に本人確
認と使用目的、
取扱いの徹底指
導を図るよう指
示した。

消防防災科学 技術賞を受賞

守口門真消防組合予
防課の後藤祐矢消防司
令補は総務省消防庁主
催の令和3年度消防防
災科学技術賞を受賞し
た。職員の部・消防防災

機器等の開発改良部門
での同組合初の快挙。
受賞理由は立入検査で
担当者を補助するスマ
ホアプリの独自開発し
た研究が評価された。



昨年11月25日、東京消防庁大学校での表彰式